

市民助け合いネット

仲間通信

[第23号]

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 片岡 興

F270-0121 流山市西初石4-370-93

☎・FAX 04-7153-5733

平成24年3月末現在の

私たちの仲間

総数 839名

(内訳)

提供会員 360名

利用会員 479名

会員交流会のお知らせ

「市民助け合いネット」では、「利用会員」と「提供会員」が一堂に会して集い交流する、『会員交流会』を下記のとおり開催します。この『交流会』は、「仲間づくり」と「会話による老化防止」に役立てようと、毎年最低1回開催している恒例の行事です。毎回60人くらいの会員が集い、新しい仲間づくりに会話が弾み、楽しいひとときを過ごしています。会員の皆様多数のご参加をお待ちしています。

日時・6月9日(土) 10時~13時

会場・南流山福祉会館(南流山センター隣)

会費・一人500円(飲み物は現地で格安販売します)

研修・10時~11時は「介護保険制度」を勉強します。

[講師: 流山市介護支援課 早川 仁課長補佐]

●参加ご希望の方は、5月末までに事務所に連絡ください。●

期待されて8年目へ!

市民助け合いネット

平成二十三年度活動報告

「市民助け合いネット」が発足してから八年目となり、基本業務である「助け合い活動」は、会員も八〇〇名を超えて、ますます拡大を続け、地域の人々から大きな期待が寄せられています。以下に、平成二十三年度の活動内容を報告いたします。(決算諸表は2面)

■会員の拡大

ますます増加する「助け合い活動」へのニーズに対応するためには、会員数の拡大が絶対には必要です。前年度はそのために、当会のパンフレット等を公共施設などに配置すると共に、市内各地(主に自治会)で説明会を積極的に実施しました。

会員数は、前年度末八〇〇名から新規入会者が二二〇名、死亡等の退会者八一名を差し引いても三九名の増加で、八三九名となりました。

■助け合い活動

当会の最大の使命「助け合い活動」の前年度は、別表(2面)のとおりです。全体では微増となつていますが「介護保険制度」の改正により同制度の適用外の「外出支援」「家事支援」「庭の手入れ」が大きく増加しています。今後、この傾向はますます大きくなると思われま

■ふれあいサロン事業

平成二十二年五月からスタートした「ふれあいサロン」は、「介護予防」(《老化予防》)を目的に「市民助け合いネット」が企画した活動で、「困った時の助け合い」と併せて、『困ったことを発生させないための予防』をめざすもので、「カンタン体操」や「おしゃべりタイム」などの構成で行われています。

今年度は、実施自治会が前年度の四か所から八か所に倍増、二か所の公民館を含めて九十九回開催(前年度は三十五回)、参加人数も前年度の八二八人から今年度は三、八二〇人と約五倍近くになりました。

■行政からの受託事業

流山市から指定管理者として業務を受託している「初石公民館」「南流山公民館」「市民活動推進センター」の管理運営ほか、高齢者外出支援、交通安全教室、ロードレースの運営の各業務を行いました。

二つの公民館は、当会が管理運営を行うようになってから、施設の改善整備をはじめ、自主事業として、地域と時代に合ったイベントを企画するなどにより、サービスの向上につながり、市民の方々の好評を得ています。更にこの諸活動は、行政の



NPO市民 有償運送車

助け合い活動の現場写真



ふれあいサロンのカンタン体操



大盛況の流山ロードレース

コスト削減による財政健全化の一助にもなっています。

「南流山センターまつり」 開催のおしらせ

毎年恒例となった「南流山センターまつり」が、今年も下記のように開催されます。今年も多数の方のご来場をお待ちしています。

開催日・・5月26日(土)～27日(日)の2日間

会場・・南流山センター(南流山福祉会館)

内容・・①日頃ご利用されている各種の趣味の団体の発表
②売店「焼きそば」「カレーライス」「飲み物」



「昨年のセンターまつり」風景

平成23年度助け合い活動実績表

項目	内容	件数	前年比
外出支援	病院などへの送迎	2,524回	116.0%
家事援助	掃除・選択・食事作り等	1,374回	104.4%
庭の手入れ	除草・剪定・片付け等	324回	132.2%
付添い同行	病院・買い物等	913回	91.5%
犬の散歩		334回	80.3%
その他	粗大ゴミ処理など	201回	53.6%
計		5,670回	102.6%

貸借対照表(平成24年3月31日現在) (単位千円)

流動資産	23,394	流動負債	6,635
固定資産	926	剰余金	17,685
		(内当期)	(3,270)
資産計	24,320	負債・剰余金	24,320

速報値

損益計算書(平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位千円)

収入		支出	
入会金収入	98	助け合い事業費	8,596
助け合い活動費収入	6,919	行政受託事業費	52,450
行政受託収入	62,305	管理費	4,408
寄付金収入	738		
収入計	70,060	支出計	65,454
経常損益	4,606		
法人税・県市民税等	1,336		
税引き後利益	3,270		

(注)「助け合い活動」の赤字を、行政受託事業の収益で補填して、地域社会にとって必要な「助け合い活動」の継続性を確保しています。



美味しい食事と楽しい会話

外出困難だった方々大喜び

「利用会員」交流会開催

「市民助け合いネット」では、去る四月七日(土)に、初石公民館に於て今後に向けた試みの「利用会員交流会」を開催しました。当日は、特に脚の具合の悪い方を、日頃送迎を担当している提供者さん五人が送り迎えして、十五人の利用者さんが参加。事務所スタッフ六人による手づくり料理に、桜と菜の花の生け花が趣を添え、楽しい会話が始まりました。「おしゃべりタイム」のあと、アトラクションとしてDレオオクトボこと利用者さんの大久保泰弘さんのマジックショーが行われ、最後に全員で「ふるさと」と「青い山脈」を合唱、二時間の楽しい集

いが終わりました。参加された方々には、スタッフや送迎をした提供者さん達の心づかいが伝わり、全員から「ありがとう」の言葉をいただきました。脚が悪いため普段は外出がむづかしく、引きこもりがちの利用者さんが、このような機会に外出して、多くの方々と「楽しい会話」を交わすことは大切なことで、ご本人も大変喜ばれています。当会としても、このような集いを今後出来るだけ行いたいと考えています。

福祉有償運送運転者講習会

当会会員十八名が受講

去る三月二十九日・三十日の二日間、生涯学習センターに於て「福祉有償運送運転者講習会」が行われ、当会会員十八名が受講しました。今回は、他団体からの九名と合わせて受講者は二十七名、陸運局の認証を受けた講師を迎え、午前九時から午後五時まで、講義と実

講習の内容は、体の不自由な高齢者の送迎を想定した、実技を取り入れたもので、安全な送迎に必要な基本的な知識と技術を習得することを目的にしたものです。現在行われている福祉有償運送(高齢者の病院などへの送迎)

平成23年度勤労報告の精髄



真剣な受講者のみなさん

は、道路運送法で運転者の講習会が義務づけられており、これであるのが、道徳運送法で運転者の講習会となり、当面の送迎のニーズに対応できる体制が整いました。